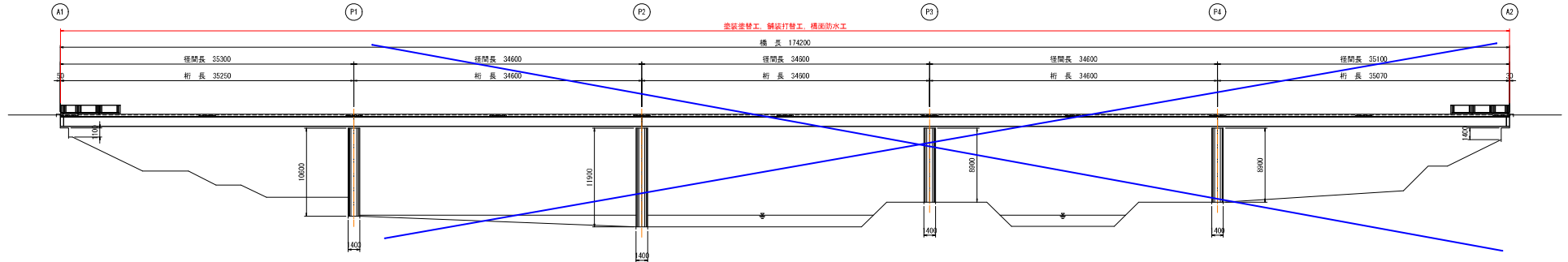


R5年度補修範囲

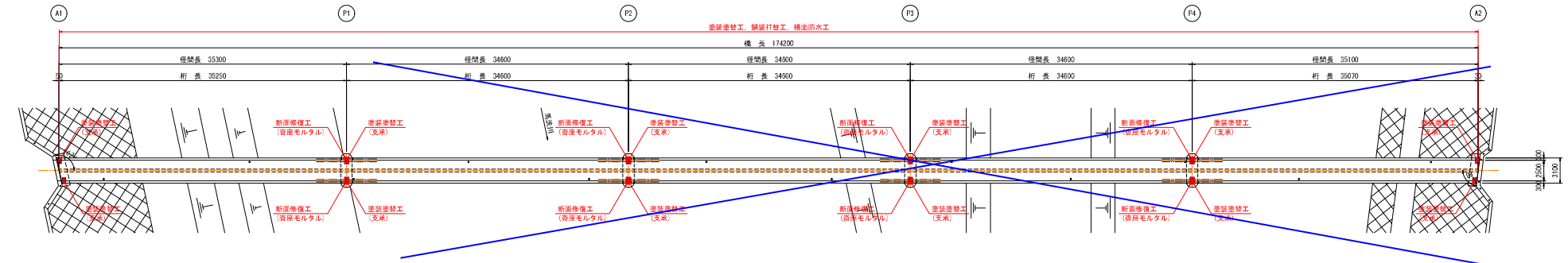
(舗装打替工, 橋面防水工を除く)

水道橋 補修計画一般図

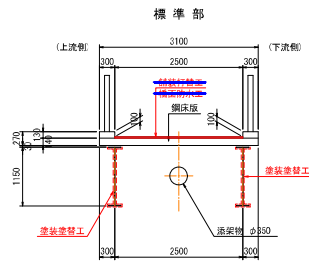
側面図 S=1:250



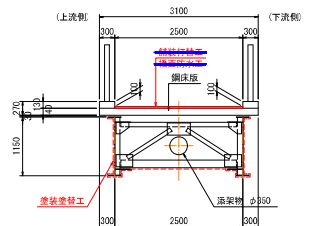
平面図 S=1:250



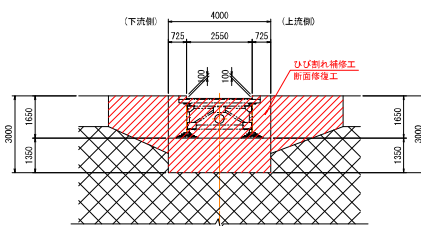
断面図 S=1:50



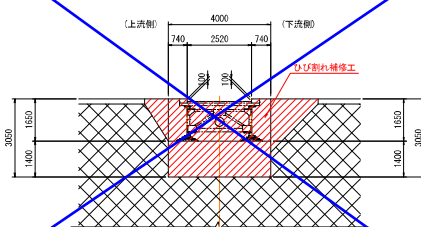
中間部



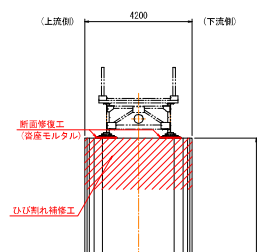
A1橋台正面図 S=1:100



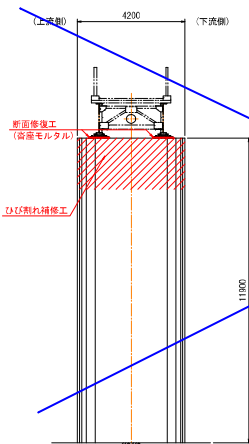
A2橋台正面図 S=1:100



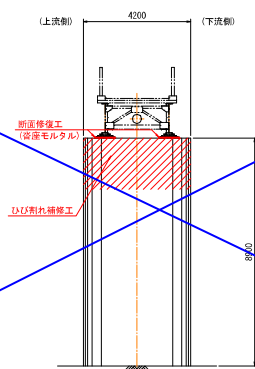
P1橋脚正面図 S=1:100



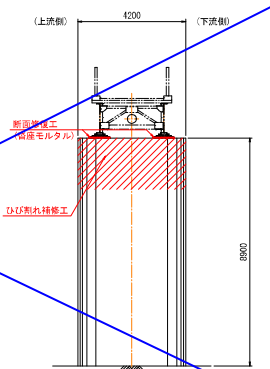
P2橋脚正面図 S=1:100



P3橋脚正面図 S=1:100



P4橋脚正面図 S=1:100



水道橋

工事名	橋梁整備設計業務委託 (国工区)		
図面名	補修計画一般図		
作成年月日	令和 5年 12月		
縮尺	図示	図面番号	1 / 8
会社名	明仲建設コンサルタント株式会社		
事業者名	三 次 市		

注 記

※ 本図面は、現地での簡易な計測に基づき作成したものである。

※ 部材寸法は、施工前に現地を再確認のうえ決定のこと。

水道橋 補修図（その１）

S=1:100

下部工：A 1 橋台, A 2 橋台

A 1 橋台

A 2 橋台

側面図（下流側）

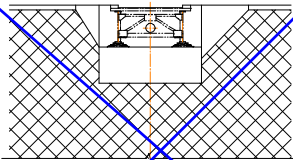
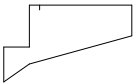
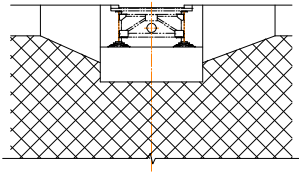
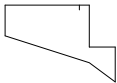
正面図

側面図（上流側）

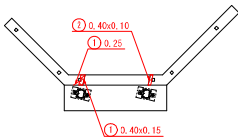
側面図（上流側）

正面図

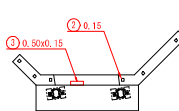
側面図（下流側）



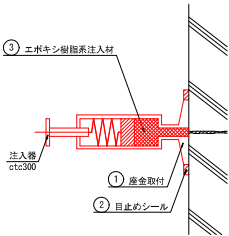
平面図（沓座面）



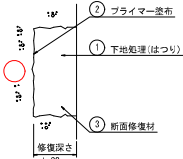
平面図（沓座面）



ひび割れ補修工
【注入工】



断面修復工
【左官工法】



※断面修復時に鉄筋が露しい確実が確認された場合は工事監督官と協議し、必要な鉄筋の補強を行うこと。

凡 例

表 示	補修の種類
多さ (n)	ひび割れ注入工 (幅0.2~0.5mm未満)
長さ (n)	ひび割れ注入工 (幅0.5~1.0mm未満)
長さ (n)	ひび割れ注入工 (幅1.0mm以上)
	断面修復工

水道橋

工事名	橋梁整備設計業務委託（田工区）		
図面名	補修図（その１）		
作成年月日	令和 5 年 12 月		
縮 尺	S=1:100	図面番号	2 / 8
会社名	明仲建設コンサルタント株式会社		
事業者名	三 次 市		

注 記
※ 本図面は、現地での簡易な計測に基づき作成したものである。
※ 部材寸法は、施工前に現地を再確認のうえ決定のこと。

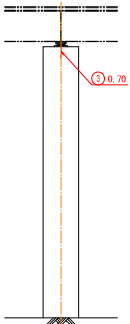
水道橋 補修図（その2）

S=1:100

下部工：P 1 橋脚

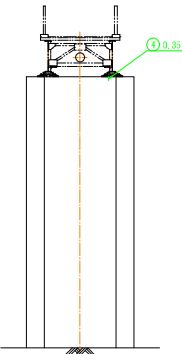
側面図（上流側）

(終点側) (起点側)



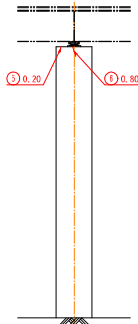
正面図（起点側）

(上流側) (下流側)



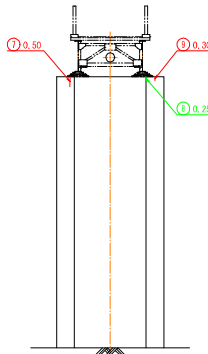
側面図（下流側）

(起点側) (終点側)

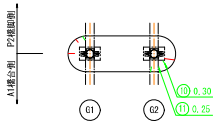


正面図（終点側）

(下流側) (上流側)

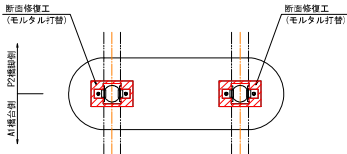


平面図（省座面）



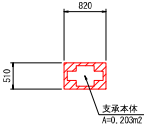
支承部

S=1:50



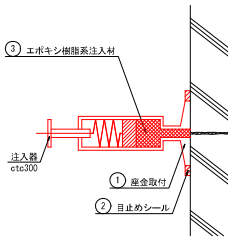
モルタル打替

【t=35mm】 S=1:50



ひび割れ補修工

【注入工】



凡 例

表 示	補修の種類
多さ (n)	ひび割れ注入工 (幅0.2~0.5mm未満)
長さ (n)	ひび割れ注入工 (幅0.5~1.0mm未満)
長さ (n)	ひび割れ注入工 (幅1.0mm以上)
断面修復工	断面修復工

注 記
※ 本図面は、現地での簡易な計測に基づき作成したものである。
※ 部材寸法は、施工前に現地を再確認のうえ決定のこと。

水道橋			
工事名	橋梁整備設計業務委託（Ⅲ工区）		
図面名	補修図（その2）		
作成年月日	令和5年12月		
縮 尺	S=1:100	図面番号	3 / 8
会社名	明仲建設コンサルタント株式会社		
事業者名	三 次 市		

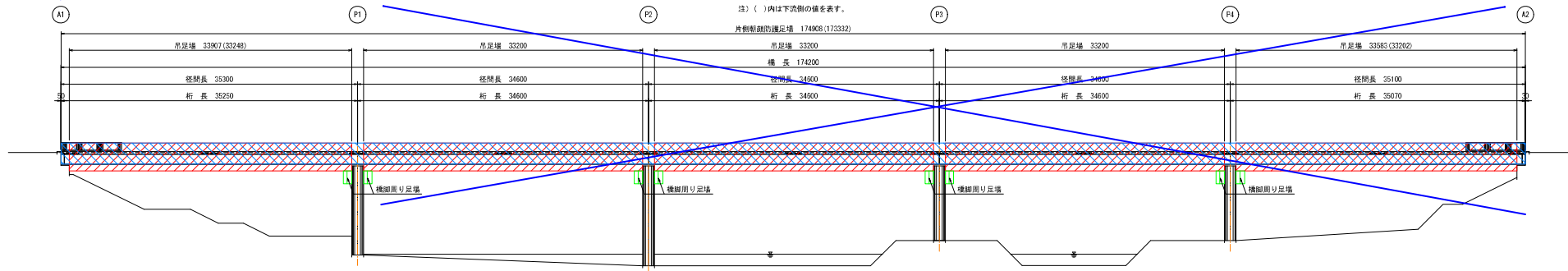
R5年度補修範囲
(P1橋脚周り足場含む)

水道橋 施工要領図（参考図）

側面図 S=1:250

注：（ ）内は下流側の値を表す。

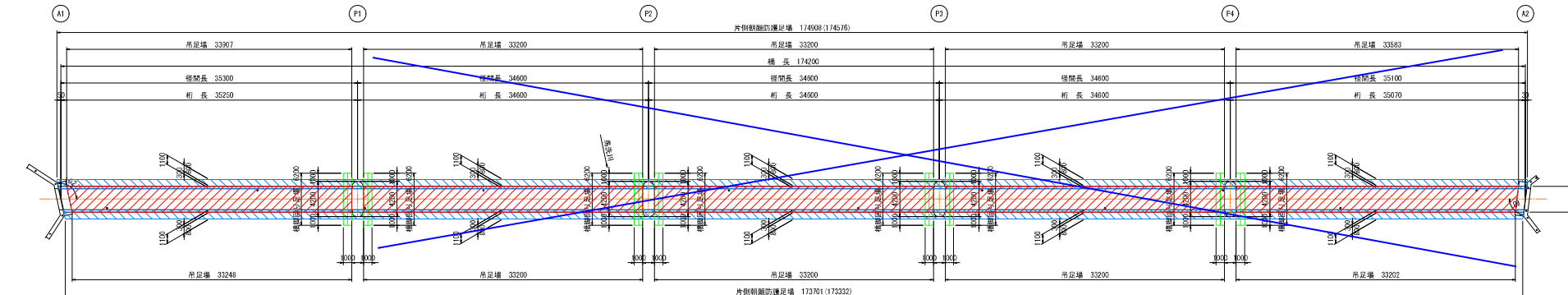
片側朝顔防護足場 174908(173332)



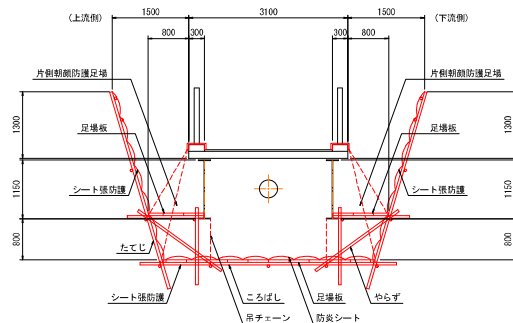
平面図 S=1:250

片側朝顔防護足場 174908(174576)

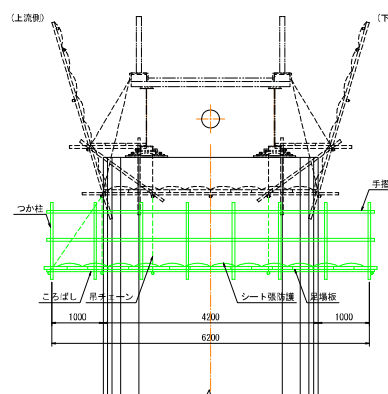
片側朝顔防護足場 173701(173332)



吊足場断面図 S=1:50



橋脚回り足場詳細図 S=1:50



足場工(吊足場)数量表

	計 算 式 (m2)	
1	1/2x (33,907+33,248)x3,100	= 104,090
2	33,200x3,100x3	= 308,760
3	1/2x (33,583+33,202)x3,100	= 103,517
合 計		= 516,367

足場工(片側朝顔防護足場)数量表

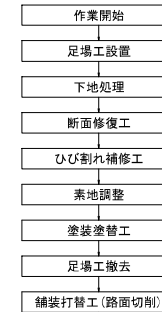
	計 算 式 (m2)	
1	1/2x (174,908+174,576)x1,100	= 192,216
2	1/2x (173,701+173,332)x1,100	= 190,668
合 計		= 383,084

足場工(橋脚回り足場)数量表

	計 算 式 (m2)	
1	(4,200-1,000)x2 x1,000x8	= 49,600
合 計		= 49,600

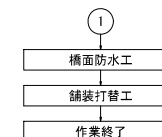
$49.600/4=12.400$

【施工手順】



凡 例

	吊足場 (TYPE A1)
	片側朝顔防護足場 (TYPE E)
	橋脚回り足場 (TYPE F)



水道橋

工事名	橋梁整備設計業務委託（田工区）
図面名	施工要領図（参考図）
作成年月日	令和 5年 12月
縮 尺	図 示 図面番号 8 / 8
会社名	明仲建設コンサルタント株式会社
事業者名	三 次 市

注 記

※ 本図面は、現地での簡易な計測に基づき作成したものである。

※ 部材寸法は、施工前に現地を再確認のうえ決定のこと。